

オフィス・インフォメーション

謹賀新年



年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成14(2002)年 元旦

京都外国語大学附属図書館
京都外国語短期大学附属図書館


 ご父母の皆様が図書館を見学

ご父母の皆様が本学の実情を知っていただくための教育懇談会が昨年の10月13日(土)に森田記念ホールで開催され、この一環として行われた施設見学で図書館へも多くの方々がお越しになりました。



この日の午前11時から希望者約140人が、館内の設備やコンピュータなどを見学。カウンター前の検索コーナーでは、学生の皆さんがホームページを使って自宅からでも24時間、資料検索ができるシステムや閲覧室で毎年後援会から寄贈されている就職関係図書と資格試験問題集などを見学さ

れました。その後、一行は書庫の2層から地下の書庫へ移られ、和書や洋書が集中的に並べられた様子をご覧になって図書館を離られました。


 昨秋に稀覯書展示会とフォーラムを開催

本学図書館は昨年の10月23日(火)から29日(月)にかけて「日伊文化資料展示会」を開催しました。この催しは、昨年が「日本におけるイタリア2001年」として両国の友好を確認し、一層絆を強めようとする年であったことから、本学図書館もこれに協賛してイタリア関係の稀覯書展として行ったものです。



この展示会に出展された図書の中で最も稀少的な価値をもつものは、インクユナブラ(初期印刷本もしくは揺籃期本)の範疇に含まれるラテン語訳の『聖書』(ヴェネチア、1475年)や、イタリア・ドミニコ会の修道士ヨハネス・パプルスが病氣と不満を癒す実用辞典として作り「万能薬」の意味を持つ『カトリコン』(ストラスブルク、1470年頃)、さらにはマルコ・ポーロの有名な著作『東方見聞録』(パリ、1556年)などです。

また自然科学の分野では、アルキメデスの『著作集』(ヴェネチア、1558年)、ガリレイの『カブラの中傷と欺瞞に対する抗議』(ボローニャ、1655年)などが並べられ、文学作品ではダンテの『神曲』(ヴェネチア、1497年)やボッカッチョの『デカメロン』(フィレンツェ、1527年)などの古い版が出展されました。さらに、日本で明治36年に翻訳出版された『ダンテ神曲物語』と同じく明治19